

社会資本総合整備計画（第4回変更）

安全安心に暮らせる太田市中心市街地の再生

平成 26 年 12 月 1 日

群馬県太田市

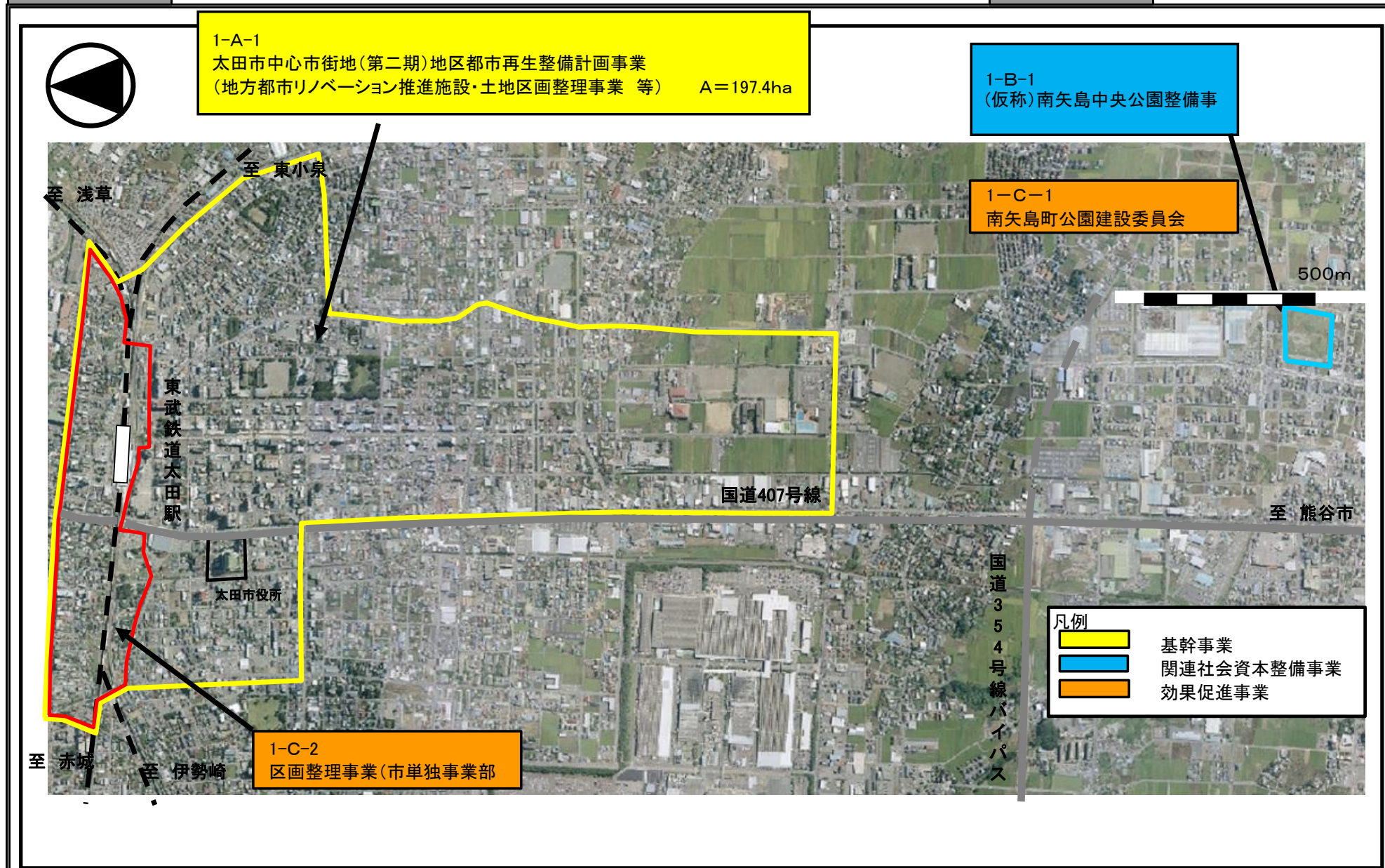
社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成26年12月1日

計画の名称		安全安心に暮らせる太田市中心市街地の再生																			
計画の期間		平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）					交付対象		太田市												
計画の目標																					
太田駅周辺は、高齢化、商店街の衰退により賑わい・居住人口が減少している地区です。平成18年度から平成22年度に都市再生整備計画太田市中心市街地地区を実施し、太田駅の鉄道高架化に伴い、駅周辺施設は充実しました。一方、太田市施行の太田駅周辺土地区画整理事業による面的整備は未完了のため、早期完成により新しい街並みを整備することが期待されています。また、太田市では、既存の芸術文化発表できる施設の稼働率が高く、利用者に支障をきたしているため、新たに中心市街地に賑わいをもたらす文化施設や公園を整備することにより、多くの人々の交流が生じ、活気のあるまちづくりを目指します。																					
計画の成果目標（定量的指標）																					
・文化交流施設の利用者数を年間295,000人とする。 ・市民満足度・重要度アンケートにおける（公園・緑地の整備）の満足度を平均値を太田市の平均値である3,800とする																					
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考										
文化施設の利用者数(新田エアリス・新市民会館利用者数・（仮称）太田駅北口駅前文化交流施設) 市民満足度・重要度アンケート（問22 公園・緑地の整備 太田九合沢野地区の平均値 行政経営課による）		当初現況値		中間目標値		最終目標値		8.5%													
		(H23当初)		(H25末)		(H27末)															
		72,415		72,500		295,000															
		3,771		3,790		3,800															
全体事業費		合計 (A+B+C)		5,283百万円		A		5,025 百万円（うち提案事業分406百万円）		B		215 百万円		C		43 百万円		効果促進事業費の割合 (A（提案分）+C）／（A+B+C）			
交付対象事業																					
A1 基幹事業																					
番号		事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)		市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
1-A-1		都市再生	一般	太田市	直接	太田市	太田市中心市街地（第二期）地区都市再生整備計画事業			A=197.4ha		太田市	H23 H24 H25 H26 H27					5,025	別添1		
合計																			5,025		
B 関連社会資本整備事業																					
番号		事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名			事業内容 (延長・面積等)		市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
1-B-1		公園	一般	太田市	直接	太田市	(仮称) 南矢島中央公園整備事業			A=20,000㎡		太田市	H23 H24 H25 H26 H27					215			
合計																			215		
番号		一体的に実施することにより期待される効果										備考									
1-B-1		新住宅地に近隣公園を整備することで自然とふれあい快適な空間を創る。また住宅密集地で災害時に一次避難所として活用も図る。																			
C 効果促進事業																					
番号		事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名			事業内容		市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
1-C-1		活動支援	一般	太田市	間接	南矢島町公園建設委員会	南矢島町公園建設委員会			ワークショップ、花いっぱい運動等		南矢島地区	H23 H24 H25 H26 H27					1			
1-C-2			一般	太田市	直接	太田市	区画整理事業（市単独事業部分）			ライフライン（地下埋設物）の設置		太田市	H23 H24 H25 H26 H27					42			
合計																			43		
番号		一体的に実施することにより期待される効果										備考									
1-C-1		公園整備に関して地元からの意見を取り入れることにより、市民に親しみやすい公園整備ができ、住民の賑わい創出に繋がる。																			
1-C-2		太田駅周辺土地区画整理事業と併せて、ライフラインの整備により快適に暮らせる住環境整備に繋がる。																			

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	安全安心に暮らせる太田市中心市街地の再生		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	太田市



関連社会資本整備事業：(仮称)南矢島中央公園整備事業



南矢島中央公園

■整備前



■平面図



(参考) 年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業									
事業名		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
太田市中心市街地(第二期)地区都市再生整備計画事業			太田市	5,025	82	94	437	683	3,729
計				5,025	82	94	437	683	3,729
関連社会資本整備事業									
事業名		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
(仮称)南矢島中央公園整備事業			太田市	215	19	18	59	65	54
計				215	19	18	59	65	54
効果促進事業									
事業名		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
南矢島町公園建設委員会			太田市	1.0	0.2				0.8
区画整理事業(市単独事業部分)			太田市	42				28	14
計				43	0.2	0.0	0.0	28.0	14.8
合計				5,283	101.2	112.0	496.0	776.0	3,797.8
累計進捗率 (%)					1.9%	4.0%	13.4%	28.1%	100.0%

都市再生整備計画

お お た し ちゅうしん し が い ち だい に き だい かい へん こう
太田市中心市街地(第二期)地区(第4回変更)
(地方都市リノベーション事業)

ぐんまけん おおたし
群馬県 太田市

平成26年12月

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	太田市	地区名	オオタシ チュウシンガイチ ダイニキ チク チホウ トシ ジギョウ 太田市中心市街地(第二期)地区(地方都市リノベーション事業)	面積	197.4 ha
計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ～ 平成 27 年度				

目標

- 大目標 太田駅周辺の賑わいの再生と文化交流によるまちづくり
- 小目標① 芸術発表を行える多目的ホールや文化交流施設を新設し住民の交流をはかる
- 小目標② 太田駅周辺の利便性と安全性の向上により人口の定着をはかる
- 小目標③ 太田駅周辺土地区画整理及び歩道整備により、都市基盤の整備水準の向上をはかる
- 小目標④ 芸術・文化振興を通し、中心市街地の賑わいを創出をする

目標設定の根拠

都市全体のリノベーション方針(都市構造再編を図るため、都市機能の拡散を防止する等の公的不動産のマネジメントも取り組みを含む)

太田市中心市街地地区は、公共交通の要衝であり、商業・業務施設及び公共施設が集積しているが、経済活動の衰退や少子高齢化による定住人口の減少、また土地の有効利用が不十分で良好な都市環境空間の整備が立ち遅れています。地方の中核都市に相応しい都市機能・基盤の更新と構築、快適な都市環境の創造、都市空間における緑の保全・創出、活力ある商業・産業の実現、交流・連帯の促進など、中心市街地の再生を図ることが急務となっている。

その方策として、既存施設や商店街、新たな機能をもつ施設等を結ぶ連携軸の中心的役割を備えた地区として変革し、都市・生活文化の交流・創造・発信拠点として、安らぎのある「都市空間の形成」などにより、中心市街地の再生を図る必要がある。

こうしたことから、本市中心市街地における交通結節点である太田駅を中心としたエリアを「中心拠点区域」に位置付け、駅からの利便性がよく、安全な太田駅の北口駅前広場西側に、図書館と美術館を併設した(仮称)太田駅北口駅前文化交流施設を交流創出の核として整備し、太田駅周辺にある駅なか文化館やまちなかの市民ギャラリーと連携し、「アートによるまちづくり」を展開することで、賑わいのあるまちづくりを図る。併せて太田駅や(仮称)太田駅北口駅前文化交流施設利用者の利便性・安全性の向上及び景観の向上のため、太田駅南口駅前広場整備などの太田駅南口周辺の整備事業や、安全で快適な住(居住)環境確保のための太田駅周辺土地区画整理事業での面的整備を行うことにより、安らぎのある都市空間の実現を目指す。

公的不動産のマネジメントとしては、本市が有する土地資源を活用した土地利用方針の中で、無秩序な市街化の進展を防ぎ適切な土地利用の誘導を図るため、「自然的土地利用」と「都市的土地利用」との区分に配慮しながら主要な用途を適切に配置することを都市計画マスタープランで定めており、また、長期に保有する土地については計画的な処分の実施を図ることが新生太田総合計画に定められている。

中心市街地においては、市有地に市営住宅団地や、介護付き有料老人ホーム・市営住宅・一般賃貸住宅からなる複合居住施設の建設や救急医療施設・夜間急病診療所の建設など、都市機能の強化を図るべく積極的な整備を行っている。しかし、太田駅前に賑わいの核となる施設がないため、新生太田総合計画では太田都市拠点地区にある北口広場に隣接する空き地となっている民有地を取得し、有効活用をする計画を策定している。芸術文化交流によるまちづくりを目指すため、太田駅周辺にある文化施設と連携し、今まで太田市にない新感覚の文化交流施設を建設する。これにより太田駅周辺に市内外からの人の回遊と賑わいを創出し、都市機能の立地を誘導することにより、都市機能の拡散防止を図る。

本市の中心市街地は、江戸時代に日光例幣使街道の宿場町として、地域経済的・行政的にも中心地として発展してきた。東武鉄道開通後、軍事産業の隆盛を背景とした商業施設・行政施設の集積が進み、本市の歴史・伝統・文化・経済等の拠点として役割を担ってきた。その後首都圏市街地開発区域の指定に基づき、計画的な整備を行い発展してきた。しかし急激な車社会の到来で、大型商業施設の郊外進出等、都市機能が拡散され、中心市街地の機能が低下している。平成19年4月より、特例市に移行した。

「新生太田総合計画」(H19～H28)では、市街地の再整備を含め都市機能を再編成・都市機能の強化を図り、魅力あるまちづくりを推進する地区と提唱して、平成18年度から5年間まちづくり交付金事業により、「都市機能が整備された、賑わい・潤いのある中心市街地の再生」、「金山と駅周辺地区を歴史と緑の回廊で結び、市民や来訪者の交流を創出」と目標を設定した。また、群馬県施工の連続立体交差事業による踏切の撤去により、人や車の流れがスムーズになり、さらに土地区画整理事業により、住(居住)環境の整備が行われ快適なまちづくりと整備がされつつある。一層の中心市街地周辺の賑わいを戻すため、市営住宅を3棟整備することにより、定住人口の増加につながっている。しかし、太田駅駅前に、魅力的な施設がないことから、賑わいをもたすための核となる施設の必要性が生じている。

連続立体交差事業及び太田駅周辺土地区画整理事業により、太田駅北口駅前広場は整備したが、駅前広場を離れると老朽化した建物が現存し、駅前の景観を損ねている。このような状況から、太田市の顔にふさわしい核となる施設整備及早急な面的整備による住居住環境整備が求められている。

太田市の「顔」である太田駅の南側に、都市機能更新のため太田駅南口地区市街地総合再生計画を策定し、併せて民間活力を導入した市街地再開発事業を官民一体となり魅力的なまちの再生を図る。また中心市街地の空き店舗対策として、太田市の補助金や商工会議所と連携し、民間活力によってまちを再生させる改善を図っているところである。

課題

- ・太田駅北口駅前広場整備や連続立体交差事業により、景観・交通利便性の向上になったが、人の交流が無く依然として活気がない。
- ・現代美術の分野で活躍するアーティストの作品を常設展示したり、今までにないエンターテインメント性の高い作品を展示する場所がなかった。そこで立地条件が優れていて、人々の交流が容易にでき、リピーターを確保することが可能な駅前に、核となる文化交流施設を整備する必要がある。
- ・太田駅北口に核となる施設を中心に、人の回遊性をもたらす施設が必要である。
- ・疲弊した太田駅北口及び南口周辺をを再構築する必要がある。(議員や庁内でも検討されている。)
- ・太田駅南口周辺は、老朽化が目立ち、「治安や景観が悪い」と市民アンケート結果が出ているので、再開発事業の整備が必要である。

将来ビジョン(中長期)

【新生太田総合計画】

太田駅周辺は、都市・産業共生ゾーンと定め、高度都市機能集積の核となる拠点と位置付け、商業、業務、文化、居住機能など、都市機能の強化を図ることにより、にぎわいのある魅力的な空間づくりを行います。

【都市計画マスタープラン】

将来の都市構造では、太田駅周辺を中心拠点と位置付け、商業業務機能をはじめ、教育文化、娯楽などさまざまな都市機能の集積と居住機能の確保によって、活発でさまざまな都市活動を生み、市民生活拠点及び広域的拠点となる地区としています。その中で、太田駅周辺地区は、中心市街地の活性化、防災に配慮した密集市街地の再整備を進めます。具体的には、太田駅周辺土地区画整理事業を進め、健全な市街地の形成、民間主導による再開発事業の誘導を行います。

【市街地総合再生計画(案)】

基本目標を、人が暮らすためのまち、快適に過ごせる都市空間、子や孫に託せる未来と定めています。

【東毛地方拠点都市地域整備基本計画】

太田市、館林市を中心とする圏域を東毛広域圏と定め、都市機能の集積及び高度情報・通信基盤の整備を図るため、中心都市である「太田駅周辺地区」を拠点地区として設定し、重点的な整備を進めています。

リノベーション事業の計画

都市機能配置の考え方

合併前の旧町の生活地区拠点は活かしつつ、太田市の中心である太田駅を中心とした太田都市拠点に、文化交流施設を配置することで高度機能集積を図り、住民を人を延びこみ回遊させ、賑わいを創出を図る。太田都市拠点に都市機能集積することで拡散されたまちの集約を図る。

太田駅を中心とした中心市街地は、公共交通機関の拠点となっていることから、多くの市民が集まってくる場所である。この交通拠点を芸術・文化・教育が集積された地区にするため、文化交流が図れる施設で、情報を発信できる拠点とする。併せて中心市街地に来る人が快適に過ごせる空間として、安全安心に暮らせるための住(居住)環境整備を、面的整備により推進を図る。

このことを踏まえ、推進施設として文化交流施設を整備することで、まちなかの活用の良さを再認識し、中心市街地からの拡散を防止し、減少している定住人口を歯止めをかけ、集約型のまちづくりを推進する。

太田駅は、太田市の玄関口として交通機能が強化されていて、市内外からの来訪者があり、太田駅北口駅前文化交流施設でやすらぎととれる拠点として整備を行う。また太田駅から南側周辺は、大規模な文化交流施設として(仮称)新太田市民会館を整備し、市民活動を発表できる空間や鑑賞できる拠点として整備を行う。太田駅の北側には、太田駅から徒歩で探索できる自然豊かな金山があり、観光・歴史・健康の拠点として位置づけられる。

目標を達成する上で必要な「地方都市リノベーション推進施設」「生活拠点施設」の考え方(民間事業者による事業継続の見込みや民間事業に対する行政の支援等を含む)

太田駅周辺に「中心拠点区域」を設定し、駅前に図書館・美術館を整備することで、全年齢層が芸術・文化を通じ交流が図られることにより賑わいの創出につながる。図書館は、子育て世代やビジネスマンなどが、カフェを利用でき、高質的な空間を演出する。美術館は現代美術分野を中心とした企画展を開催し市外からの人も呼び込む。図書館と美術館を併設することで、連動した企画展を開催するなど、今までにない新感覚の駅前図書館を目指す。学生や来訪者は、鉄道の待ち時間を有効に利用できることは、魅力的な空間につながる。

地方都市リノベーションに必要なその他の交付対象事業等

・道路(地方都市リノベーション事業)(市道太田九合176号線道路整備)・・・太田駅南口駅前広場を再整備することで、市民が安全・快適に來られるように、利便性の向上を図る。

・道路(地方都市リノベーション事業)(市道1級25号線道路整備)・・・交通弱者である学生や高齢者が、(仮称)太田駅北口駅前文化交流施設を利用する時、公共交通による交通手段でアクセス性向上を図るため推進する。

・高質空間形成施設(緑化施設等)(地方都市リノベーション事業)(太田駅南口駅前広場整備)・・・(仮称)太田駅北口駅前文化交流施設の利用者が、安全・快適に來られ、太田市の顔のとしての安全性・快適性の向上、景観の向上・イメージアップを図る。

・高質空間形成施設(緑化施設等)(地方都市リノベーション事業)(市道1級25号線バス乗降場整備)・・・交通弱者である学生や高齢者が、(仮称)太田駅北口駅前文化交流施設を利用するため、公共交通の利用促進、安全性の向上を図る。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
文化施設の利用者数	人/年	1年間に多目的ホールを利用する人数(新田エアリス・新市民会館・太田駅北口駅前文化交流施設)	市民の芸術文化発表により住民の交流を生み出し、文化の香るまちづくりを図る	72,415	H22	295,000	H27
地区内居住者数	人	区域内エリアの町別人口の合計	太田駅周辺地区の都市基盤整備をすることにより魅力あるまちづくりを図り、賑わいを創出する	16,220	H22	16,220	H27
道路整備率	%	太田駅周辺土地区画整理事業浜町地区内の道路整備状況	区画道路建設により、生活用道路が整備され、住民の生活の向上を図る	46.5%	H22	76.0%	H27
展示発表数	回	(仮称)太田駅北口駅前文化交流施設及び駅なか文化館での展示発表会回数	芸術文化に触れあう機会を提供することで、交流人口を増やし、駅前の賑わいを創出する。	17	H24	33	H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【芸術発表を行える多目的ホールや文化交流施設を新設し住民の交流をはかる】 ・整備方針(芸術文化施設の整備) 市民の芸術文化を発表する機会が増加することにより、太田市住民の交流を創出し、文化の意識の向上に繋がることができます。多目的ホールにより多様なイベントに対処でき、沢山の利用者を見込めことにより、住民の交流を創出できるまちづくりを目指します。 太田駅を中心として文化・芸術の高いまちづくりを目指します。	【基幹事業】 地方都市リノベーション推進施設:(仮称)太田駅北口駅前文化交流施設(図書館、美術館) 高次都市施設(地域交流センター):(仮称)新太田市民会館整備事業
【太田駅周辺の利便性と安全性の向上により人口の定着をはかる】 ・整備方針(魅力あるまちづくり整備) 太田市の交通拠点の中心地である太田駅周辺道路を、交通弱者が安心して通行できるための歩道を整備し、駅前に相応しい景観形成を図ることにより、品質の高いまちづくりを目指します。また、防犯カメラを設置することにより、市民が安心して交通できるようなまちづくりを目指します。また市民の健康づくりに役立ち、利便性のよい施設整備することにより魅力のあるまちづくりをを目指します。	【基幹事業】 道路(地方都市リノベーション事業):市道太田九合176号線道路整備 道路(地方都市リノベーション事業):市道1級25号線道路整備 地域生活基盤施設(地方都市リノベーション事業):太田駅南口駐車場整備 高質空間形成施設(緑化施設等):東本町飯田線歩道整備事業 高質空間形成施設(緑化施設等):浜町ポケットパーク整備事業 高質空間形成施設(緑化施設等)(地方都市リノベーション事業):太田駅南口駅前広場整備事業 高質空間形成施設(緑化施設等)(地方都市リノベーション事業):市道1級25号線バス乗降場整備 土地区画整理事業:太田駅周辺地区 【提案事業】 地域創造支援事業:防犯カメラ設置事業 地域創造支援事業:(仮称)新太田市保健センター整備事業 【関連事業】 関連資本整備事業:南矢島中央公園整備事業 効果促進事業:南矢島町公園建設委員会 太田駅周辺土地区画整理事業:太田駅周辺地区 社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業):太田駅南口第2地区第一種
【太田駅周辺土地区画整理及び歩道整備により、都市基盤の整備水準の向上をはかる】 ・整備方針(住みやすいまちづくりのためのライフラインの整備) 既成市街地である太田駅周辺土地区画整理事業地内は、密集市街地となっています。区画整理事業により、建物等の移転、区画道路の整備(改良・新設)、下水道整備を行うことにより、災害に強く、利便性の高いまちへと、住環境整備を進めます。	【基幹事業】 土地区画整理事業:太田駅周辺地区 【提案事業】 地域創造支援事業:区画整理事業(市単独事業部分) 【関連事業】 効果促進事業:区画整理事業(市単独事業部分) 社会資本整備総合交付金:石田川流域治水対策河川事業(八瀬川) 社会資本整備総合交付金:(主)前橋館林線・太田市西本町工区
【芸術・文化振興を通し、中心市街地の賑わいを創出をする】 ・整備方針(芸術文化に接し集約的なまちづくりのための整備) 公共交通の拠点である太田駅は、集客が多く、学生、市民、子育て世代、ビジネスマンにとって、有意義に過ごせる場所となります。企画展示が増えることにより、集客も見込めるため、市民全体の芸術の満足度が上がり、利便性のよい中心市街地を集約的なまちづくりとして整備します。	【基幹事業】 地方都市リノベーション推進施設:(仮称)太田駅北口駅前文化交流施設(図書館、美術館)
その他	
○事業終了後の住民等の参加 公園整備後、地元愛護会で、活用や清掃への住民参加によるまちづくり活動を実践していきます。 ○事業終了後のまちづくりの誘導 優先的に土地区画整理事業を行う浜町地区は、整備後もまちづくり活動の各団体の意向に沿い、賑わいのある、安全なまちづくりに向け、引き続き誘導を行うものとする。	
【まちづくりの住民参加】 太田駅周辺土地区画整理地内で、NPO法人により、賑わい創出のため、土曜市を開催したり、交連者の憩いの場となる施設の運営を行い、まちなかに活性化の活動を行っている。	

交付対象事業費	5,025	交付限度額	2,224	国費率	0.443
---------	-------	-------	-------	-----	-------

基幹事業

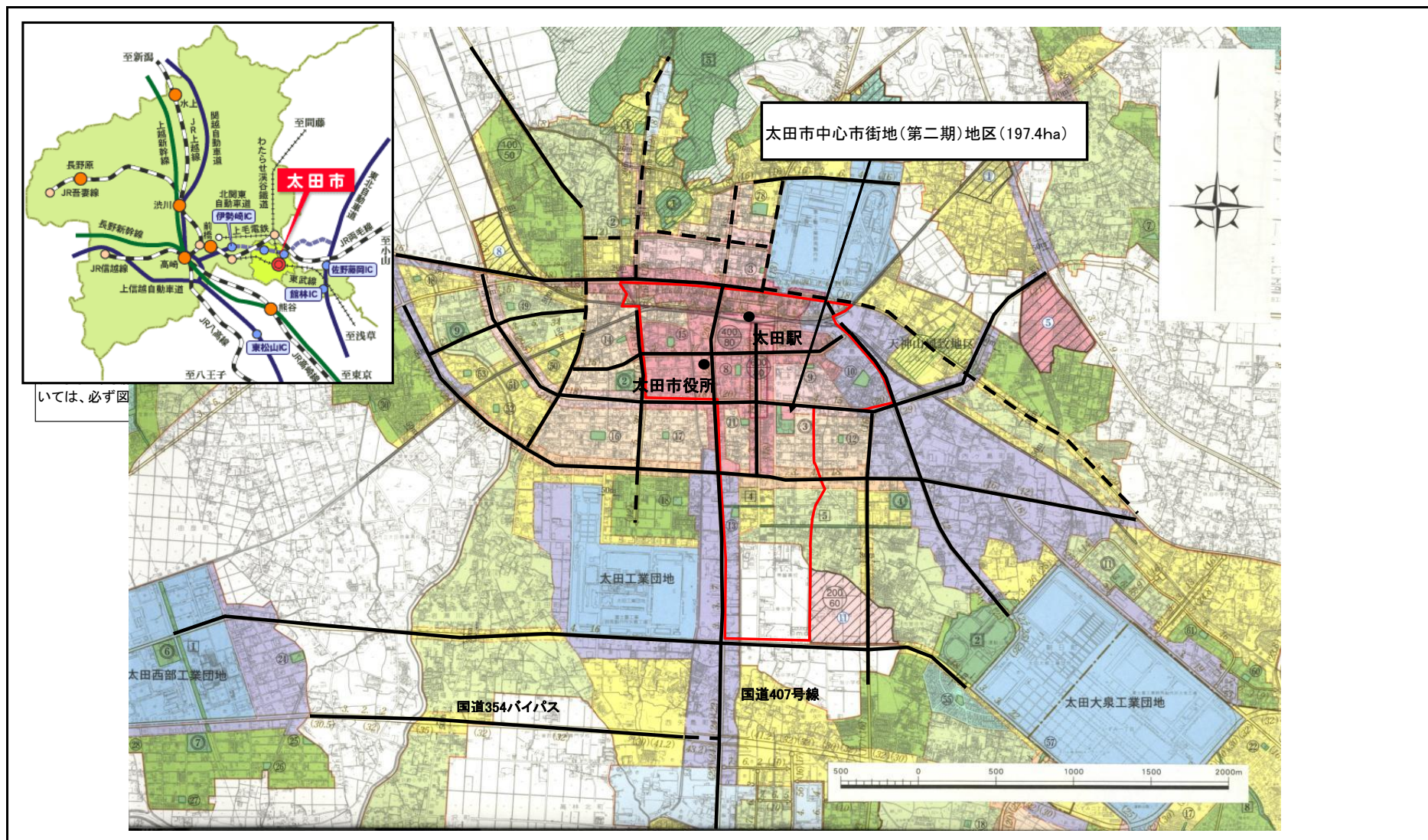
..A

..B

[illegible]

都市再生整備計画の区域

太田市中心市街地(第二期)地区(群馬県太田市)	面積	197.4 ha	区域	太田市東本町、本町、浜町、飯塚町、飯田町、新島町、小舞木町の各一部
-------------------------	----	----------	----	-----------------------------------



太田市中心市街地(第二期)地区(群馬県太田市) 整備方針概要図

目標	太田駅周辺の賑わい再生と文化交流によるまちづくり	代表的な指標	文化施設の利用者数	(人/年)	72,415	(H22年度)	→	295,000	(H27年度)
			地区内居住者数	(人)	16,220	(H22年度)	→	16,220	(H27年度)
			道路整備率	(%)	46.5%	(H22年度)	→	76.0%	(H27年度)
			展示発表数	(回)	17	(H24年度)	→	33	(H27年度)

(新規)■基幹事業 地方都市リノベーション推進施設
(仮称)太田駅北口駅前文化交流施設
A=2,331㎡

■基幹事業 土地区画整理事業
太田駅周辺土地区画整理事業(31ha)

□提案事業 地域創造支援事業
区画整理事業(市単独事業部分)
下水道整備事業 L=474m
都市ガス整備事業 L=707m
上水道整備事業 L=577m

■基幹事業 高質空間形成施設
浜町ポケットパーク整備事業
A=151㎡

□提案事業 地域創造支援事業
(仮称)新太田市保健センター整備事業
A=6,614㎡

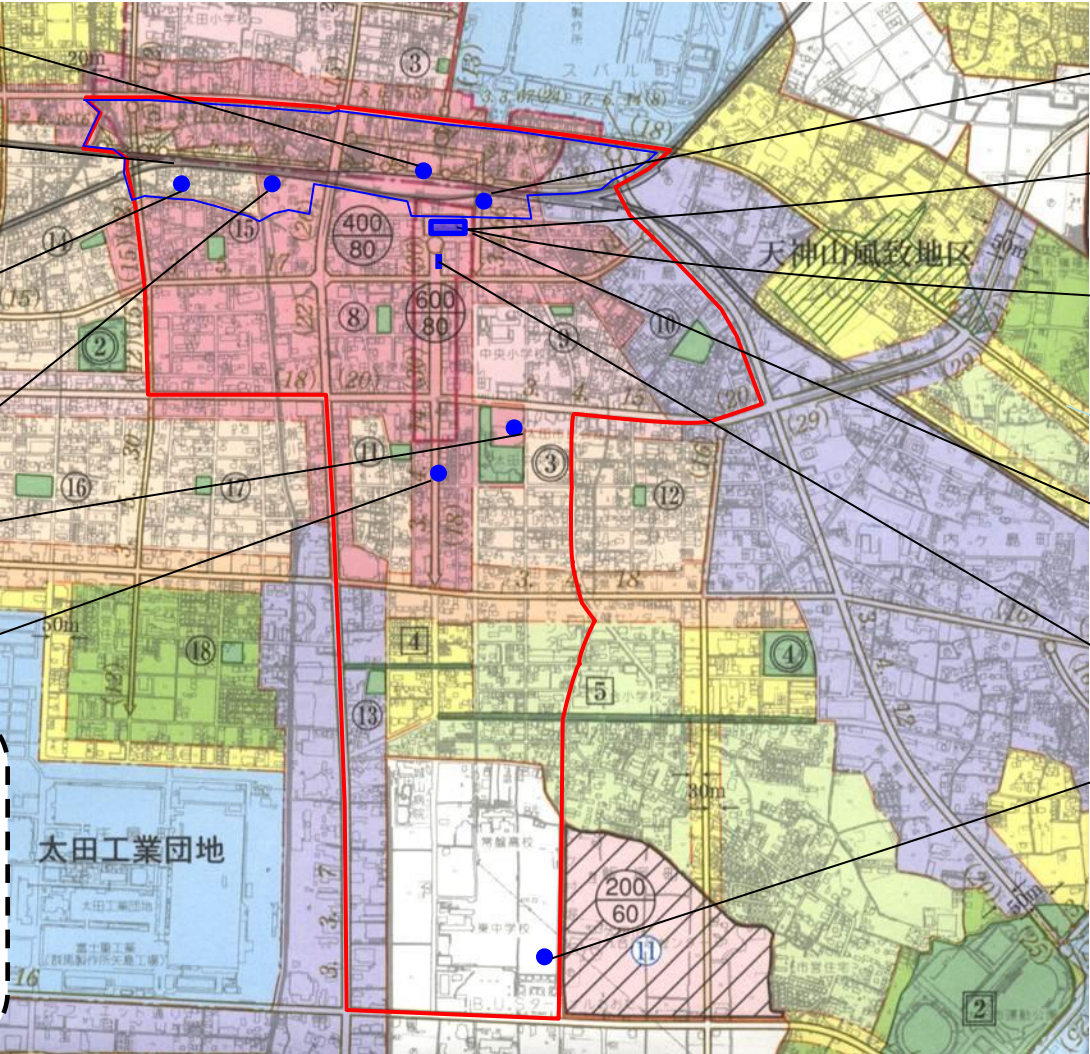
□提案事業 地域創造支援事業
防犯カメラ設置事業 22基

社会資本整備総合交付金(水の安全・安心基盤整備)
石田側流域治水対策河川事業(八瀬川) L=634m

社会資本整備総合交付金(活力創出基盤整備)
(電線共同溝)
(主)前橋館林線・太田市西本町工区 L=500m

社会資本整備総合交付金
市街地再開発事業(太田駅南口地区)(予定)

関連社会資本整備事業(南矢島中央公園)
効果促進事業(南矢島町公園建設委員会)
効果促進事業(区画整理事業(市単独事業部分))



■基幹事業 高質空間形成施設(緑化施設等)
東本町飯田線歩道整備事業
W=4m A=850㎡

■基幹事業 道路(地方都市リノベーション事業)
市道太田九合176号線道路整備事業
W=6.5m L=320m

■基幹事業 高質空間形成施設(地方都市リノベーション事業)
(緑化施設等)
太田駅南口駅前広場整備事業
A=8,000㎡

(新規)■基幹事業 道路(地方都市リノベーション事業)
市道1級25号線道路整備事業
L=82m

(新規)■基幹事業 高質空間形成施設
(地方都市リノベーション事業)
市道1級25号線バス乗降場整備事業
L=60m

■基幹事業 高次都市施設(地域交流センター)
(仮称)新太田市民会館整備事業
A=12,877㎡

凡 例

■

基幹事業

□

提案事業

- - -

関連事業